

学校法人長崎県美容学園長崎県美容専門学校の情報提供について

【学校の概要】

学校法人長崎県美容学園長崎県美容専門学校は、高い技術力と豊かな人間性を併せ持つ職業人の専門教育を目指し、また即戦力となる人材になるべく、より実践的な現場教育を取り入れ、業界からも高い評価を受けています。62年の歴史と伝統を誇り、既に6000人以上の卒業生が各界にて活躍。長崎県美容専門学校は、あすの業界を担う人材育成のための学校運営を行います。

【理事長・校長名・所在地・連絡先等】

| 学校法人名 | 理事長 | 所在地 |
|-----------|----------|---|
| 長崎県美容学園 | 石川 黎子 | 〒850-0015 長崎県長崎市桜馬場1丁目9番10号 (電話) 095-823-7270 |
| 学校名 | 校長 | |
| 長崎県美容専門学校 | 石見メルル 雅子 | |

【学校の沿革・歴史】

- 1954年（昭和29年）4月 本校の前身である「長崎県高等理容美容学校」を立山町に開校
- 1959年（昭和34年）4月 寄合町に移転
- 1967年（昭和42年） 理容科と美容科がそれぞれ独立し本校は夫婦川町9番18号に長崎県高等美容学校を開校
- 1976年（昭和51年） 学校法人長崎県美容学園を設立
- 1996年（平成8年） ロンドンのヴィダル・サスーン・ヘアドレッシング・スクールとスクールシップの提携を結ぶ
- 1998年（平成10年） 美容師法の施行により美容学校は2年制度になる
- 1999年（平成11年）2月 長崎市桜馬場1丁目9番10号に5階建ての校舎を竣工
4月 専修学校の認可を受け、校名を「長崎県美容専門学校」に変更

- 2000年（平成12年）6月 長崎県主催、日蘭交流400年祭にシーボルト大学、玉木女子短大、本校の3校合同による古代から現代までの衣ショー【日本のころも】をブリックホールにて上演
- 2001年（平成13年） 長崎市地域環境美化推進事業に参加
中川町から諏訪神社下までを清掃活動開始
- 2003年（平成15年）6月 長崎市医師会デイサービスセンターにおいてカット、メイクアップのボランティア開始
- 2005年（平成17年）10月～2008年（平成20年）10月
学園祭のヘアファッションショー部門をNBCビデオホールにて開催
- 2009年（平成21年）8月～2011年（平成23年）7月
ヘアファッションショー 長崎市民会館文化ホールにて開催
- 2012年（平成24年）10月 KTN×FM Nagasaki 主催 「Love fes 2012」水辺の森公園にてヘアファッションショー開催
- 2013年（平成25年）8月 ヘアファッションショー 長崎市民会館文化ホールにて開催
- 2014年（平成26年）10月 KTN×FM Nagasaki 主催 「Love fes 2014」水辺の森公園にてヘアファッションショー開催
- 2015年（平成27年）1月 厚生労働省より、昼間・通信課程は「教育訓練給付制度」の認定を受ける
- 2月 文部科学省より「職業実践専門課程」の認定を受ける
- 7月 特別公開講座 TONY&GUY トレンドヘアセミナー
長崎市民会館文化ホールにて開催
- 2016年（平成28年）3月 一般社団法人専門職高等教育質保証機構が実施した専修学校職業実践専門課程第三者評価において認定を受ける

【教育目標】

- ① 社会人としての礼儀を身につけ、信頼される人間性を培うために絶えず研鑽をかさねる能力をもった人材
- ② お客様に適した技術（ヘアカット、パーマネントウェーブ、ヘアカラー、メイク、ネイル、エステ、着付けなど）を提供でき、お客様に満足いただく技術を提案できる能力をもった人材
- ③ お客様に対してもっとも大切なホスピタリティマインド（接客力）を投入し、接客マナー、カウンセリング、アドバイスを実践できる能力をもった人材

これらの能力を備えた人材を育成し、美容業界へ送り出すことを本校の教育目標とします。

【美容科の概要】

| | | | | | | |
|-------|--|----------------|----------------|-----------------------|------------------|----------------|
| 目的 | 学校と企業との密接な連携のもとに美容師に必要な技術・知識・接客マナーを習得し美容業界に係る職業人として高い実践的能力を持つ美容師の養成を目的とする。 | | | | | |
| 分野 | 課程名 | 学科名 | 修業年限 (昼、夜別) | 全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数 | 専門士の付与 | 高度専門士の付与 |
| 衛生 | 衛生専門課程 | 美容科 | 2年(昼) | 2010時間 67 (又は単位) | 平成12年2月8日 | 無 |
| 教育課程 | 講義 | 演習 | | 実験 | 実習 | 実技 |
| | 660時間 (又は単位) | 単位時間 (又は単位) | | 単位時間 (又は単位) | 1350時間 (又は単位) | 単位時間 (又は単位) |
| 生徒総定員 | 生徒実員 | | | | | |
| 160人 | 96人 | | | | | |

【カリキュラム等の概要】

授業科目等の概要

| （衛生専門課程美容科）平成 28.年度 | | | | | | | | | | |
|---------------------|------|------|---------|---|---------|------|-----|------|----|----------|
| 分類 | | | 授業科目名 | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業時数 | 単位数 | 授業方法 | | |
| 必修 | 選択必修 | 自由選択 | | | | | | 講義 | 演習 | 実験・実習・実技 |
| ○ | | | 関係法規・制度 | 美容師の業務に関する法規・制度について学ぶ。 | 1通 | 30 | 1 | ○ | | |
| ○ | | | 衛生管理 | 美容師に必要な公衆衛生および環境衛生などについて学ぶ。 | 1・2通 | 90 | 3 | ○ | | |
| ○ | | | 美容保健 | 美容技術の基礎となる人体組織、特に皮膚及び毛髪などの付属機関の構造などについて学ぶ。 | 1・2通 | 120 | 4 | ○ | | |
| ○ | | | 美容物理化学 | 美容業務を安全かつ効果的に行うための正確な化学的知識と美容器具や香料などの適正な取り扱い方について学ぶ。 | 1通 | 90 | 3 | ○ | | |
| ○ | | | 美容文化論 | 顧客であるお客様の満足度を上げるため、デザイン力に必要な文化歴史知識及びファッション文化を研究し、感性感覚を磨く。 | 1・2通 | 90 | 3 | ○ | | |
| ○ | | | 美容技術理論 | 美容器具類の操作・管理方法と衛生的、能率的に技術を行うための理論を学ぶ。 | 1・2通 | 120 | 4 | ○ | | |
| ○ | | | 美容运营管理 | 美容を業とする者に対する必要な経営管理、健康管理、接客、マーケティングについて学ぶ。 | 2通 | 60 | 2 | ○ | | |
| ○ | | | 美容実習 | 美容師の業務を安全かつ効果的に実施する技術や顧客の要望に応じた技術の提供ができるように、基本的技術を総合的に学ぶ。 | 1・2通 | 810 | 27 | | | ○ |

| | | | | | | | | |
|----|-----------|--|------|--------------|----|---|--|---|
| ○ | エステティック | 心身の健康と美の表現を目的とし、科学的理論に基づき体の仕組みや血流、皮膚科学技術を学ぶ。 | 2通 | 60 | 2 | | | ○ |
| ○ | 美容カウンセリング | 美容業におけるカウンセリングの本質とその意義について学び、実践を通してお客様との関わり方と自身の社会性を身につける。 | 2通 | 60 | 2 | ○ | | |
| ○ | 美容総合技術 | 基本的技術をもとに、さらに発展した高度な技術（ネイル・メイク・カラーリング・着付け）を習得するとともに、美容デザインの最新の技術の習得を目指す。 | 1・2通 | 390 | 13 | | | ○ |
| ○ | 接客マナー | サロンにおけるコミュニケーションを学習するとともに相手の気持ちを理解することや挨拶、姿勢、思いやりの精神を学ぶ。 | 1 | 30 | 1 | | | ○ |
| ○ | 芸術 | 色彩の基礎理論を学習し、造形の基礎について実習を通して学ぶ。 | 1・2通 | 60 | 2 | | | ○ |
| 合計 | | | 13科目 | 2010時間（67単位） | | | | |

【進級・卒業の要件等】

＜成績の評価方法＞

授業科目の成績評価は、学年末において、各学期末に行う試験、実技の成果、履修状況を総合的に勘案して行う。

授業科目を履修し、成績評価で合格した者であって、出席時数が、その教科課目の授業時数の3分の2（実習を伴う教科課目は5分の4）以上には所定の単位を与える。

欠課時数が出席すべき教科課目の3分の1（実習を伴う教科科目にあっては5分の1）以上であっても、十分な補習等を修了した者には単位を与えることができる。

各授業科目の成績評価は、総合成績（実習を含む）を100点満点とし、60点以上を合格とする。

【学習の成果として取得を目指す資格】

| 資格・検定名 | 主催団体等 |
|-----------------------|-----------------------------|
| 美容師国家資格 | 公益財団法人 理容師美容師試験研修センター |
| 着物着付修了書 | 学校法人長崎県美容専門学校 |
| INA ネイルスペシャリスト技能検定 A級 | NPO 法人 インターナショナルネイルアソシエーション |
| IMA メイク技能検定 準A級 | 九州理容美容学校協会 |
| 色彩検定 3級・2級・1級 | 公益社団法人 色彩検定協会 |
| ABE まつ毛エクステンション認定資格 | 公益社団法人 日本理容美容教育センター |
| ABE エステティック認定資格 | 公益社団法人 日本理容美容教育センター |
| 接客マナー初級修了書 | 学校法人長崎県美容専門学校 |
| ヘッドスパ初級修了書 | 学校法人長崎県美容専門学校 |

【生徒・生活指導】

生徒・生活指導上の諸問題が発生した場合には、クラス担任制による指導、日頃からの気配りや声掛け、個別面談等をおこない、更に専門家の意見も取り入れ対処する。

【教職員】

| 学校長 | 教員 | 講師 | 事務職員 | 校医 | 計 |
|-----|----|----|------|----|-----|
| 1人 | 7人 | 7人 | 1人 | 1人 | 17人 |

【キャリア教育等】

- ・毎年4・5・6月に学校内で企業参加の就職説明会を開催し、学生に対しての就職支援に努めています。また、個別に二者面談による、指導を定期的に行う。

【様々な教育活動】

- ・ヘア・メイク・衣裳・企画・構成・音響等をすべて学生自身で行う「KENBI ヘアファッションショー」を毎年開催しています。
- ・地域へのボランティア活動として、学校周辺の清掃活動や福祉施設でのボランティア活動、商店街、美容サロン、保育所等への浴衣パレードやハロウィンパレードなどを行っています。

【学生への生活支援】

- ・遠隔地より入学する学生に対し、安全・安心に学校生活を送れるようにアパート、マンション等の紹介を行っています。
- ・学生指導体制として、①定期的な個人面談の実施
②問題が発生した場合、学校を挙げての適切な指導、家庭との連携、更に必要に応じて専門機関の指導助言を仰ぐ。
- ・学費納入サポートとして、分割分納支払い・奨学金・教育ローンを活用した学費納入方法を複数設定しています。万一、支払いに困った場合は、担任を通して事務局と学生と一緒に、無理のない学費納入計画を作成し、学生が安心して授業に取り組める工夫をしています。
- ・健康診断を毎年実施し、学生の健康面での支援を行っています。

【災害傷害保険】

- ・安心して学生生活を送れるよう、登下校中、行内校外授業中の事故に対する保険に加入しております。

【学校の財務状況】

専修学校における学校評価ガイドラインに基づく、財務状況については、学校の公式サイトに公開しております。

長崎県美容専門学校ホームページ (<http://n-beautycollege.ac.jp>)

【学校関係者評価】

専修学校における学校評価ガイドラインに基づく学校関係者評価については学校の公式サイトに公開しています。

長崎県美容専門学校ホームページ (<http://n-beautycollege.ac.jp>)